

# 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医認定制度カリキュラム

(平成 23 年 4 月 1 日制定)

(平成 23 年 7 月 28 日改訂)

(★は重点項目)

## I. 総論

### 1. 原因微生物

#### 1) 微生物の分類

##### (1) 真核生物

①多細胞生物 ②原虫 ③真菌

##### (2) 原核生物

①一般細菌 ②その他〔抗酸菌, スピロヘータ, クラミドフィラ(クラミジア), リケッチア, マイコプラズマ〕

##### (3) ウイルス

#### 2) 病原因子

### 2. 感染症診療の基本的考え方

#### 1) 問診〔基礎疾患, 発症場所(市中/院内), 発症様式など〕

#### 2) 臨床徴候

##### (1) 全身症状

##### (2) 局所症状(臓器別感染徴候)

##### ★(3) 発熱の鑑別診断

#### 3) 微生物検査法

##### (1) 検体の採取, 観察, 保存法

##### (2) 塗抹標本

★①グラム染色 ②チール・ネールゼン染色 ③特殊染色(墨汁染色, PAS染色, グロコット染色, ヒメネス染色, 末梢血塗抹標本など)

##### (3) 培養・同定

★①一般細菌 ★②嫌気性菌 ③抗酸菌 ★④真菌 ⑤その他(マイコプラズマ, レジオネラなど)

##### (4) 薬剤感受性検査

①ディスク法 ★②最小発育阻止濃度(MIC)測定(寒天平板希釈法, 微量液体希釈法, E-test)

③その他( $\beta$ -ラクタマーゼ検出, 耐性遺伝子検出など)

#### 4) その他の微生物検査法

##### (1) 血清診断

①ウイルス〔風疹ウイルス, RSウイルス, ムンプスウイルス, 麻疹ウイルス, インフルエンザウイルス, ヒト免疫不全ウイルス(HIV), アデノウイルス, 単純ヘルペスウイルス, 水痘・帯

状疱疹ウイルス, Epstein-Barr ウイルス, サイトメガロウイルス, 肝炎ウイルスなど] ②細菌 [マイコプラズマ, クラミドフィラ(クラミジア), リケッチア, レジオネラ, 百日咳菌, 結核, 梅毒トレポネーマなど] ★③真菌 (カンジダ, アスペルギルスなど)

(2) 病原診断

★①遺伝子診断 (PCR, パルスフィールド, DNA プローブ, LAMP 法など) ②抗原検出法 (ラテックス凝集法 溶連菌, クロストリジウム・ディフィシル, クリプトコッカス, カンジダなど) ③免疫クロマト法 (RS ウイルス, インフルエンザウイルス, HIV, アデノウイルス, 肺炎球菌尿中抗原, レジオネラ尿中抗原など) ④EIA 法 ⑤その他 (エンドトキシン,  $\beta$ -グルカンなど)

3. 抗微生物薬

1) 基礎

(1) 作用機序

★(2) 抗菌スペクトラム

★(3) PK-PD (薬剤の代謝・排泄経路・組織移行性, ブレイクポイント, Cmax, Time above MIC,  $T_{1/2}$ , AUC, TDM など)

★(4) 耐性機序

2) 特徴 (有効菌種, 副作用, 相互作用, 併用注意, 禁忌を含む)

(1) 抗ウイルス薬 (抗インフルエンザウイルス薬, 抗 HIV 薬, 抗ヘルペスウイルス薬, 抗肝炎ウイルス薬など)

★(2) 抗菌薬 (ペニシリン, セフェム, カルバペネム, その他の  $\beta$ -ラクタム, マクロライド, ケトライド, テトラサイクリン, アミノグリコシド, キノロン, グリコペプチド, ホスホマイシン, クロラムフェニコール, スルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤など)

(3) 抗結核薬

★(4) 抗真菌薬

(5) その他

3) 特殊病態下の化学療法

★(1) 新生児

★(2) 小児

★(3) 高齢者

★(4) 妊婦

(5) 各種基礎疾患 (肝障害, 腎障害, 血液疾患, 臓器移植, 免疫不全など)

★(6) 術後感染予防

4) 効果判定

## II. 各 論

### 1. 臓器別感染症治療

★(1) 敗血症

- ★(2) 感染性心内膜炎
- ★(3) 中枢神経系感染症（髄膜炎，脳炎，脳膿瘍など）
  - (4) 眼感染症
  - (5) 耳鼻科感染症（中耳炎，副鼻腔炎など）
- ★(6) 呼吸器感染症（上気道炎，喉頭蓋炎，気管支炎，肺炎，慢性呼吸器疾患の急性増悪，肺膿瘍，胸膜炎，膿胸など）
- ★(7) 肝・胆道系感染症（肝膿瘍，胆嚢炎，胆管炎など）
- ★(8) 腸管感染症（細菌性食中毒，旅行者下痢症など）
- ★(9) 腹腔内感染症（細菌性腹膜炎，肝胆道管感染症）
- ★(10) 尿路・性器感染症（膀胱炎，腎盂腎炎，前立腺炎，膣炎，子宮内膜炎，付属器炎，カンジダ症など）
- ★(11) 性感染症（淋菌感染症，性器クラミジア感染症，性器ヘルペス，尖圭コンジローマ，HIV，HBV，梅毒など）
- ★(12) 皮膚軟部組織感染症（壊死性筋膜炎，肛門周囲膿瘍など）
- ★(13) 骨・関節感染症
- ★(14) 術後感染症
- ★(15) カテーテル関連血流感染症
- ★(16) 菌性感染症

## 2. 原因微生物別感染症治療

### 1) ウイルス感染症

#### (1) DNA ウイルス感染症

- ①単純ヘルペスウイルス感染症 ②水痘・帯状疱疹 ★③サイトメガロウイルス感染症
- ④Epstein-Barr ウイルス感染症（伝染性単核症） ⑤HIV 感染症

#### (2) RNA ウイルス感染症

- ★①インフルエンザ

#### (3) ウイルス性肝炎（A 型，B 型，C 型，その他）

### ★2) クラミジア感染症

- (1) クラミドフィラ（クラミジア）・ニューモニエ感染症
- (2) オウム病
- (3) クラミジア・トラコマチス感染症

### 3) リケッチア感染症

- (1) つつが虫病・日本紅斑熱
- (2) 発疹チフス
- (3) コクシエラ感染症（Q 熱）
- (4) その他

### ★4) マイコプラズマ感染症

5) 一般細菌感染症（各種耐性菌も含む）

(1) グラム陽性球菌感染症

★①A群レンサ球菌感染症 ②緑色レンサ球菌感染症 ★③肺炎球菌感染症 ★④黄色ブドウ球菌感染症 ⑤コアグラールゼ陰性ブドウ球菌感染症 ⑥腸球菌感染症

(2) グラム陽性桿菌感染症

①ジフテリア ②ノカルジア症 ③アクチノマイセス症 ④リステリア症 ⑤炭疽

(3) グラム陰性球菌感染症

①髄膜炎菌感染症 ②淋菌感染症 ③モラクセラ感染症

(4) グラム陰性桿菌感染症

★①インフルエンザ菌感染症 ★②クレブシエラ感染症 ★③緑膿菌感染症 ★④ブドウ糖非発酵菌感染症 ★⑤レジオネラ感染症 ⑥百日咳 ★⑦大腸菌感染症 ⑧サルモネラ感染症 ⑨細菌性赤痢 ⑩ビブリオ感染症 ⑪コレラ ⑫エルシニア感染症 ⑬カンピロバクター腸炎 ⑭その他（アシネトバクター感染症，プロテウス感染症，セラチア感染症，ブルセラ症，野兎病など）

(5) 嫌気性菌感染症

★①無芽胞嫌気性菌感染症 ②破傷風 ③ウエルシュ菌感染症 ④ボツリヌス食中毒 ★⑤クロストリジウム デイフィシル

6) 抗酸菌感染症

(1) 結核

(2) 非結核性抗酸菌症

7) スピロヘータ感染症

(1) 梅毒

(2) ワイル病

(3) その他（ライム病，回帰熱など）

8) 真菌感染症

★(1) カンジダ症

(2) クリプトコッカス症

★(3) アスペルギルス症

(4) ムーコル症

★(5) ニューモシスチス肺炎

(6) その他

9) 寄生虫感染症

(1) 原虫（マラリア，赤痢アメーバなど）

(2) 蠕虫（条虫，線虫など）